

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



今月の表紙：常呂町の大地を優しく包む初日の出
(紹介は16ページ)

2016.1
No.
505



高品質農産物の 安定供給产地の確立

常呂町農業協同組合
代表理事組合長 小野寺 俊幸

近年にない豊作年

組合員の皆様におかれましては、平成28年の新年をご家族と共に迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の本町農業は、

蒔き付け時の天候に恵まれ作業が順調に進みました。

その後の天候は、各作物の生育中盤まではやや低温気味に推移し生育は全般に遅れ気味となりましたが、その間ほど良い降雨に恵まれ順調に生育致しました。秋の収穫作業は、降雨を避けながらの収穫となつたものの、生育期間の天候に恵まれ近年にない豊作年となりましたが、秋まき小麥は播種期の遅れと播種後の

台風23号の降雨により半数近くが冠水し、生育が回復することなく越冬となり春以降の生育に不安を来すものとなりました。

昨年の當農は、近年にない豊作年となりましたが、作付上課題となつてゐる輪作体系や土づくりが改善されたわけではなく天候に恵まれた要因が大きく、結果に甘んずることなく今年も改善に努めなければなりません。

安心して営農できる 仕組みの構築

農業を取り巻く情勢は、国民が行方を注視する中、昨年10月に大筋合意されたTPP協定であります。現在公表されている情報では、今後の

當農に不安を持たざるを得ない内容となつております。

その様な中、JA北海道中央会は政府が昨年11月25日に決定した「総合的なTPP関連政策大綱」について、JAグループ北海道が求めてきた政策提案が一定程度反映されると評価しましたが、農林水産関連予算が削減されるとことなく安定財源を確保することができます。

定に当たりましては、各生産組織・団体内において協議検討いただきました意向を元に策定した農業振興計画となる計画の策定となりました。策

定に当たりましては、各生産組織・団体内において協議検討いただきました意向を元に策定した農業振興計画となる計画の策定となりました。策

本町を取巻く情勢は前段でも述べました通り、TPPにおける国内対策の行方を見守りながらも、災害や農政等の環境変化に対応できるようJAの役職員・組合員皆様それが役割を確認し力を合わせ常呂町農業を実践して参りたいと思います。

JAは農業者や国民・道民と一緒に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」を反映すると共に、昨年立ち上げましたアグリサポート事業で、農作業の軽減・効率化を実施して参りましたが、第8次においてもより一層組合員の皆様を営農支援出来ま

の影響を十分に解析し、営農が継続出来る対策を勝ち取つていかなければなりません。

第8次農業振興 計画のスタート

今年は、本町農業の指針であります第8次振興計画のスタート年となります。

なお、第7次振興計画は最終年の昨年好天に恵まれ豊作となり、概ね目標達成となりましたが、それまでの歩みでは反省することも多く、このことを踏まえての第8次振興

すよう事業の充実を進めて参ります。

また、本町農業の基礎（土地づくり・適正輪作）の後退が見られます。持続的な農業を進めるには「TOKORO型クリーン農業」を再度確認し、常呂の肥沃な農地を活かす土地を取り戻し「美味しく安心して食べられる農産物」を消費者の皆様に届けられる産地の確立を目指すよう、より具体的な計画として参りますので、ご協力願います。



協同の精神に立ち返り

農業・農協を後世に継承



北海道農業協同組合中央会

會長飛田稔章

れたりします。

道民に信頼され、共に歩む
JAグループ北海道

組合員並びにJA役職員の皆様方には、「ご健勝にて輝かしい新年を迎えたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありましたが、全体的には概ね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていらっしゃることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

大筋合意に
該当する
事項

強い憤りを

さて、昨年の11月11日に、組合員やJJA役職員など、関係者の方々の参加のもと、第28回JJA北海道大会が開催さ

平成27年は、農協改革法案

振興や農協経営への影響がないう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされました。守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果

の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農業は生命産業

に至つたことに対し、強い憤りを覚えるところです。今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対し、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすと共に、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めしていく必要があります。

今年の干支は申年（アサヒノ）です。

よし、共に頑張りつつある
ませんか。

活に欠かすことのできない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありま
せん。

併せて、北海道農業並びに、
Aグループ北海道の一層の発
展を心よりご祈念申し上げ、
新年にあたつてのご挨拶と致
します。

地域・家族農業の視点に立った農政改革運動を



常呂町農民同盟
委員長 梅田俊則

「地域農業」・「家族農業」の視点に立った農政を平成28年の輝かしい新春を盟友の皆様と共に迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、農民同盟の活動に対し、皆様のご理解とご協力を頂き、大変ありがとうございました。

昨年の常呂町の農業は、春の好天に恵まれ植付け作業は順調に進み、その後の生育中の大きな天候不順も無く、収穫作業を終えることができました。ただ、10月の低気圧と台風23号による影響で、デントコーンの収穫と品質に悪影響が出た事と、蒔き付け作業が遅れた今年収穫の秋まき小麦に不安が残るのが心配されます。

さて、政府は昨年、諮問機関である「規制改革」及び「産業競争力」両会議の提案を踏まえて、農協・農業委員会・農業生産法人の要件を見直す改正法を、国会で成立させました。

これは、先に創設された農地中間管理機構をはじめ、農業への企業の参入を進めやすくし、効率優先・競争力強化を自らにしたもので、農協の本質から外れており、地方を益々疲弊させ、地域を支える家族農業の崩壊への危機をはらんでいます。このことは、政府が唱えている「地方創生」とはまったく反対なものであり、このため本同盟は、上部組織と共に、「地域農業」・「家族農業」の視点に立った農政

改革の運動を引き続き進めていきたいと考えています。

また、政府が昨年10月5日に大筋合意に至ったTPP交渉は、農林水産物の約8割が関税の即時撤廃もしくは段階的撤廃の対象となり聖域とされていました。米・麦・牛肉・豚肉・乳製品・砂糖・でん粉の重要5品目についても約3割が関税撤廃となっています。

さらに関税が残った重要品目も無税もしくは低関税の特別輸入枠が設定されるなど、我が国においてかつて経験したことのない高い水準の農畜産物の開放となっています。また食の安心・安全の面から考えても、大変疑義を抱く協定であり、農業者だけではなく多くの人々に「不信・憤り・不安」という失望感が漂っているように思います。

これは、先の農協・農業委員会・農業生産法人の改革と同じように、「地方創生」・「1億総活躍」ではなく、「地域農業崩壊」・「家族農業凋落」につながるもので、本当の意味で日本の国益を守った、と言えるものではないと考えています。

今後、本同盟は、地区連盟

や、北海道農民連盟と連携を取り合って、国会での批准阻止、さらに、国民各層への説明責任を強く政府に要求していきたいと思っています。

最後になりましたが、本年が盟友の皆さんにとって、災害のない素晴らしい一年であり、豊穣の秋を無事迎えることができるよう心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせて頂きます。



常呂力は皆さんのお恵みと



網走農業改良普及センター

所長阿部秀幸

農家の努力が 結実した一年

新年あけましておめでとうございます。農業者の皆様に
おかれましては、平成28年を
健康で迎えられましたことを
心よりお慶び申し上げます。
さて、昨年度は春先は平年
並みに農作業は開始されまし
た。「平年並み」と言つ葉葉
に安堵感を感じつつ順調に作
業と生育は進みました。

熟したことで、小麦は豊作になりました。
さらに馬鈴薯、甜菜においても平年作を上回る収穫量を得たことは喜ばしい一年になりました。

りました。

畑作物ばかりでなく、才ホーネック管内全体で見渡してみても、水稻、野菜も平年作を確保できたことは過去の実績では希有な年となりました。

このことは単に気象に助けられた訳ではないと思われます。リスク分散の意義から低

温作物（重点畑作物）と高温作物（水稻など）を同じ地区

で栽培する現地にとつては、気象変動に負けない栽培に努めた結果が実を結びだしたと言えるでしょう。

気象変動に応じた追肥、管理技術、病害虫発生を予測し

新たな病害虫の 発生に対処

地球温暖化が呼ばれておりますが、農業にとつても無視できない事案も発生しました。まず、過去に注視すること少なかつた病害虫発生への対応が必要になりました。今年は管内全体に発生が懸念されていて、「小麦なまぐさ黒

**地域農業は
地域の知恵で解決**

これまで経験のない病害中の発生は今後もあります。疑わしい生育不良作物に遭遇した場合には、いち早い検査が肝要です。

労働力不足を見越した解決方策として、コントラクターの検討から試行に移る動きもあります。

芽吹きだしています。家族経営協定の締結に関心がある農家もいます。

口シストセンチュウ」とは、国内初の「システムによる発生拡大が要因にな
発生確認され、発生範囲の特
定が急がれています。土壤移
動による発生拡大が要因にな
る」とは、国内初の「シ

穂病」「甜菜西部萎黃病」「ネギハモグリバエ」は一部で発生が見られましたが、地域全体で取り組んだ発生予察、防除対策により被害拡大は防げました。

知恵が出されて、具現化すること
が常呂の未来を切り開くことになります。
今年を行動元年として、皆様には健康に留意され、良い年になりますようご祈念申し上げます。

当然TPP問題をはじめとした農業情勢は皆様にとつては影となりそうな要素もありますが、ひとたび地元農業に目を移せば、明るい兆しが見えています。

JAところ女性部

あれから10年が経ち 60周年を迎えました！

設立50周年から早10年。JAところ女性部は、設立60周年を迎える記念事業の一環として部員29人が参加し記念研修旅行を11月17日～20日の4日間で行いましたので報告致します。

新たな取組を実際に体験

1日目は、一般社団法人家の光協会を訪問しました。



組織構成の説明を聞く部員のみなさん

同協会では、伊藤文吾次局長より歓迎の言葉を頂き、岩澤信之編集長から「組織構成」や「誌面の作り方」などを説明して頂きました。また、女性部が家の光購読普及に貢献したことへの感謝が述べられました。また、12月号より新連載となつた「王子におまかせ」というコーナーのオチヨ・エクササイズを体験。オチヨとは、スペイン語で8の字を意味し、身体を8の字に動かすことでインナーマッスルを鍛えることの出来るもので、初体験のオチヨに戸惑いつつ「オチヨ！」と声を出しながら楽しんで運動を行いました。

次に、編集部を見学し、ちやぐりん編集部では以前表紙に起用されたピーナッツの皮を利用した兵馬俑を見せて頂きました。家の光編集部では以前常呂町にも訪れた役員は12名と交流会を行いました。東京あおば女性協議会の役員は、「あの日見た夕日が忘れられない」といった会話などが聞こえました。また、交流会ではタオルを使った人形作りを行い協力し合った結果打ち解けた部員達はグループに分かれています。

直売所の視察を終え、JA東京あおば女性協議会の役員は、「あの日見た夕日が忘れられない」と話し、畠いっぱいに生徒の育てた野菜が広がっていました。は、「野菜作りに興味のある人に畑を貸し、基礎から全てを教えて、面積は6反、平成27年は、137家族の受入を行つた」と話すと、話され、訪れた日も多くの人で賑わっていました。



箱根駅伝のゴールで1枚

長きに渡る交流

2日目は、JA東京あおばを視察。練馬区にある直売所の中で最大級の「こぐれ村」を見せて頂きました。こぐれ村には、農家の方が丹精込めて作った野菜やジャムなどの加工品が所せましと並び、その中にJAとのブースもありました。大泉地区振興センターの園畠厚子係長は、「JAとこのブースは毎年楽しみにしていてもらっています」と話されました。大泉地区振興センターの園畠厚子係長は、「JAとこのブースは毎年楽しみにしている人も多く、大好評です」と話されました。訪れた日も多くの人で賑わっていました。

交流会を終え次に向かったのは、白石好孝氏が経営するレストラン「La毛利」で、自家栽培した野菜を使用した料理を頂き、野菜作りのカルチャースクール「風のがっこ」を視察しました。白石氏



交流会では活発な意見交換が行われました

充実した4日間

3日目は、静岡県の伊藤市にある朝倉農園でみかん狩りを楽しみました。

最終日は、横浜にある「カップヌードルミュージアム」を訪れ、インスタントラーメン産業を創出した安藤百福氏や、歴代のカップヌードルの歴史について、学びました。また、見学後にそれぞれ自分でカップヌードルを作りました。

この4日間を通してたくさんの思い出と女性部の絆をより一層深めることができ、大変有意義な記念研修旅行となりました。



都市型農業を実感

北海道農業と都市型農業の違いを感じ、見聞を広めることで今後の當農に活かすことを目的に、昨年度から3年計画でスタートした道外研修。2年目の本年は11月19日～22日の4日間で実施致しましたのでご報告致します。

それと思いを胸に、ステッキを抱んだ8名は東京の地へ降り立ちました。初日はJ.A.東京あおばが大泉地区で運営している直売所「こぐれ村」を視察。常呂産の農産物が入り口すぐの一等地に陳列されており、糸の強さを目の当たりにしました。

その後、当J.A.と20年以上前から交流のある白石好孝氏が経営するレストラン「La毛利」で大泉地区を始めとした全4地区の青壯年部役員の皆さんと食会が開かれ、懇親



○ 収穫した練馬大根を手に記念撮影

扈食会後はレストランのすぐ側にある体験農園を視察し、綺麗に区画整理されている農園で練馬大根抜きを体験させて頂きました。

親を深めました。

北海道農業と都市型農業の違いを感じ、見聞を広めることで今後の當農に活かすことを目的に、昨年度から3年計画でスタートした道外研修。2年目の本年は11月19日～22日の4日間で実施致しましたのでご報告致します。

それと思いを胸に、ステッキを抱んだ8名は東京の地へ降り立ちました。初日はJ.A.東京あおばが大泉地区で運営している直売所「こぐれ村」を視察。常呂産の農産物が入り口すぐの一等地に陳列されており、糸の強さを目の当たりにしました。

その後、当J.A.と20年以上前から交流のある白石好孝氏が経営するレストラン「La毛利」で大泉地区を始めとした全4地区の青壯年部役員の皆さんと食会が開かれ、懇親



様々な糸から生まれる新たな可能性を発見するためには

～前編～

常呂町農協青年部

部長 猪野間 尚人

そこから、移動しながら青年組織議員の農家視察をさせて頂き、住宅街の真ん中に農地や施設がある状態に私は違和感を覚えつつも、都市型農業の現場を間近に感じられる非常に良い経験をさせて頂きました。

2日目はまず、「東京新宿ベジフル（株）」で市場内を視察した後、今年の作物の評価や商品動向、今後の展開など様々なお話をさせて頂きました。午後からは農林水産省へ移動し、主に甘味資源作物の現状とTPPが与える影響や課題についての意見交換を行いました。今後の私を知り、一同身の引き締まる思いで耳を傾けていました。

その後、当J.A.と20年以上前から交流のある白石好孝氏が経営するレストラン「La毛利」で大泉地区を始めとした全4地区の青壯年部役員の皆さんと食会が開かれ、懇親



○ 武部代議士と意見交換する部員のみなさん

い意見交換会となりました。会場を変えて、武部代議士と農林水産省職員の方々を交えて懇親会を行いました。意見交換会時の緊張の表情から一転、笑顔も見える中で各自貴重な情報や知識を得られた充実した時間となりました。

仲間と築いて

～「JAとひろ組合員研修「夢さがし塾」最終年～

組織・地域のリーダー育成を目的とした組合員研修「夢さがし塾」を11月24日～28日の5日間、組合員12人、職員2人が参加し、四国方面にて研修を行いましたので、ご報告致します。



常呂町にはない千枚田を背景に記念撮影

研修先は徳島県上勝田の樹
いわじりで彩事業「葉っぱ」
ジネス」についてJA集荷場
で商品や受入れ用の機械の操

作などを見学し、その後、彩農家に実際に葉っぱレジネスに取組んだ経緯や注文から出荷までの会話を聞いていました。

ゆすの形が無骨で書畫販売は低迷していたことから地元で加工し、販売する道へ踏み切った経過や加工販売にシフトしてから「じつくん馬路村」など多数の人気商品が開発されるまでの経過について研修会し、また、東谷望史組合長より「一度やると決めたら最後までやり通そう」という気持ちが大事になる」とのお話を頂きました。

これからは常温産農畜産物がブランド化出来るような活動をしていきたい」との感想が出ていました。

要を感じた。千枚田の一枚の畑の狭さに驚いた」と感想が述べられました。また、5日間の研修を終えて「自分達はこんなに恵まれた場所で農業をしているんだと実感した。

つでたくさんの商品を開発している活動がすばらしい」「自然エネルギーを取り入れ自給自足しようとしている」とは、今更取る組合必

ついで、棚田を使用した千枚田のオーナー制度について研修して参りました。

常呂町加工馬鈴薯生産組合（林健志組合長）は12月2日から5日までの4日間、婦人道外視察研修を行い、組合長を始め11人の生産者が参加しました。

加工馬鈴薯生產組合 婦人視察研修

生産された 馬鈴薯の流通を知る



● 他産地の作物に興味津々

翌日はカルビー（株）広島工場を視察し、ホテトチップスやスナック菓子の製造工程を見学しました。工場見学前には徹底された衛生管理の下、普段は見学することができない製造工程を目の前で見学することができました。

初日のカルビー（株）西田
本事業本部関係者の3名との懇談会では、本町農業の現況や栽培方法などの積極的な意見・情報交換があり、貴重な懇談会となりました。

カルビー(株)広島工場にて記念撮影

今回の3泊4日の視察を通じて、常呂の馬鈴薯がどの様な流れで消費者の手に届くのかを改めて知ることが出来る貴重な視察となりました。

その他は県内最大級の農産物直売所であるJA兵庫六甲の「六甲のめぐみ」を視察しました。開店前にも関わらず長蛇の列が出来ており、農産物だけでなく神戸牛などの神戸ブランド品や専用の花卉壺場では多くの花卉類が販売されており、見学だけでも意義

黒金薯本来の風味があり、通常販売されている物とは一味違った美味しさで参加者の皆さんも喜ばれていました。

は「常陸の馬鈴薯は品質が良い」と称賛されました。見学中に揚げたてのポテトチップスを試食しましたが、味付けがされていないにも関わらず、通常の風味があり、通



● 江別製粉(株)ではパワーポイントを使用した取組みなどの説明が行われました

麦生産部会（江田恭之部会長）は11月24日・25日の2日間、道内視察研修を行い、江田部会長、小野寺副部会長、深尾副部会長が参加しました。24日は、本町産小麦の取引先の江別製粉（株）を訪問し、27年度小麦の反収・品質などの作柄を説明し、江別製粉側からは実需としてのニーズ・取組みを説明して頂き活発な意見交換ができました。その後、4Sが徹底された工場の見学をさせて頂きました。

25日は、ホクレンの麦類課を訪れ、江田部会長より「日々頃より小麦を含む農産物の取り扱いについて尽力して頂いていることへの感謝」を込め挨拶を行い、その後、ホクレンより「麦をめぐる情勢について」説明があり、本年度の小麦については、「過去最高66万トンの入庫数量となり、実需とのギャップも縮まり非常に良い年だった」とお話しがありました。

また、平成28年度産についても110%を超える入札となつており、小麦全般としては、上向き傾向であることが認められ、貴重な意見交換を行つことが出来ました。



● 資料に目を通し真剣に話を聞く江田部会長、小野寺副部会長(左より)



● JA青年組織綱領を朗唱する青年部一同

開会式では、JA中央会の高橋和則北見支所長とオホーツクJA女性協議会の佐野多希子会長から祝辞が述べられ、JA青年の主張発表会

大会には管内の盟友133人が集まり、当JA青年部からも所副部長を始め、役員5人が参加しました。

研修大会は、「これから青年部が活性化し魅力ある青年部活動を行っていくためにどのような新たな事業を行えばいいのかグループに分かれ話し合いを行いました。

1日目終了後の懇親会では、JA青年部のイメージアップを図るため、人一倍農業と青年部活動に熱意を持った盟友を発掘するべく開かれた純農B.O.Yオホーツク地区オーディションに、当青年部の清尾佳祐支部長が登壇。1分間に腕立て伏せ60回行うというパフォーマンスを行い、見事最優秀賞を受賞し、全道大会のオーディションに代表として

出場することになりました。全道大会は12月3日から4日の2日間札幌で開かれ、当青年部からも3人が出席。清尾支部長は、農業に対する熱い思いを持って、全道のオーディションに臨み見事準グランプリを獲得。

大会終了後、清尾支部長は「これからはもっと農業や青年部活動に力を入れていきた」と力強いコメントを残しました。

地区大会、全道大会に参加した部員が一致団結した、とても有意義な研修大会となりました。



● 全道大会で準グランプリを受賞した清尾支部長

純農BOYで 全道大会準グランプリ受賞!

活発な意見交換でお互いの情報を共有

地産地消を願つて

北見市常呂自治区へ農産物贈呈

JJAといひ（小野寺俊幸組合長）は、常呂町に住む子どもたちが給食を通じて「食育」に活用してもらうために、同

町産玉葱1トンとレトルトゼンギー510袋を11月17日、常呂総合支所に贈呈しました。

この取り組みは平成21年から行われ、地産地消と食育を推進し地域農業への理解を深めることを目的に行われてい

るものです。

当団は小野寺組合長が常呂総合支所を訪れ、「本年は、各農産物とも良質なものが収穫できたので味わって下さい」と挨拶し、辻孝宗（たかむね）自治区長に目録を手渡しました。

贈呈した玉葱とゼンギーは、町内の保育所、小中学校の給食食材として使われます。



●玉ねぎが入ったケースを手渡す
小野寺組合長(右)と受取る辻自治区長

本年の 豊作を願い

JJAといひ（小野寺俊幸組合長）が主催の「新穀感謝祭」

が11月20日、常呂神社で収穫が無事終了したことへの感謝としてJJA役員をはじめ各生産組織の代表、関係機関約30人が出席し玉串を奉納しました。感謝祭終了後、当JJAの小野寺組合長より「今年は天候にも恵まれ近年稀に見る大豊作の年となり収穫を無事終了出来たことは組合員各位の

努力と関係機関の協力の賜物である」と感謝の言葉述べられました。



●感謝の意を述べる小野寺組合長(左端)

常呂産の農産物を大都市の消費者にPR!

～JJA東京あおば農業祭 出店～

いただき、生産者自ら都心部の消費者に販売を行いました。

両日とも天候に恵まれ、多くのお客さんが来場し、用意

JJA東京あおば主催の第18回農業祭に出店しました。

初日には、道外視察研修で

東京を訪れていたJJAところ青年部の部員の人も応援に駆けつけ、販売のお手伝いをして

どの大盛況となりました。

次年度も出店し、北海道常呂産の農産物を大都市の消費者にPRしていくことを目指します。



【写真上】青年部の方に販売をお手伝いいただきました
【写真下】数多い販売ブースに大勢のお客さんが来ていました

うえる 通信

12月から「ファーマーズハウス うえる」に
入居している農業研修生をご紹介致します。

とさ まなみ 土佐 愛弥さん(28)

出身地：旭川市

趣味：ドライブ、パン作り



★農業研修をやつてみての感想（魅力）は？
酪農を体験させて頂いているのですが、想像以上に大変な仕事で驚きました。特に搾乳は毎回牛に嫌がられてしまうので、早く技術を身につければならないなど強く思います。牛のことを熟知し、休みなく働く酪農家の凄さを改めて感じました。

★これから意気込みなど

研修中になたくさんのことを学び、経験したいと思っています。搾りたての牛乳と地元産の小麦粉を使ったパン作りもしてみたいです。色々とご迷惑をおかけしてしまふかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

★農業研修に応募したきっかけは？

以前から農業に興味があり、いつか農業に関わる仕事をしたいと思っていました。次の職を決める前に、さまざまな農業を実際に体験してみたいと思い、応募しました。

★常呂町の印象は？

私の地元には海がないので、こんなに身近に海があつてすぐに見に行けるのは初めてで、とても嬉しいです。冬を越えて春、夏と景色が変化していくのが今から楽しみです。

★農業研修をやつてみての感想（魅力）は？

酪農を体験させて頂いているのですが、想像以上に大変な仕事で驚きました。特に搾乳は毎回牛に嫌がられてしまうので、早く技術を身につければならないなど強く思います。牛のことを熟知し、休みなく働く酪農家の凄さを改めて感じました。

女性農業研修生紹介

※各地域の研修先でお会いの際は、温かい声を掛けて下さい様お願い致します。



● 懇親会で行われた
「アグリガールズコレクション」には、
JAところの今橋さやか支部長が参加！
(前列左から4番目)

オホーツクJA女性協が主催の「フレッシュユミズ部員研修会」が11月30日～12月1日に網走市「網走湖荘」で開かれました。管内フレッシュユミズ部員約140人が参加し、JAところからは、藤澤志乃部会長を始め10人が参加しました。

1日目の研修では、JA斜里町の浅野真希氏が「JA斜里町女性部フレッシュユミズ部会一歩前へ」と題し「女性部の中でフレッシュユミズ部会を独立させ仲間と共に新たな一步を踏み出した喜び」をフレッシュユミズの主張としてを行い、その後は「ワインやサヨガ講座」を行いました。また、その後の研修で

は「健康ダイエットと食生活について」と題し、エイ

トローブ代表の大塚寛恵氏

が、「デトックスの効果やプロトコルによる胃腸のリセッタの大しさなどについて講話を行いました。

2日目は、「農業が楽しくなるヒント」と題し、遠軽町で農業を営む江面ファームの江面陽子氏による「農家になるまでの経過」や「白滝じゅがのPR」、「農家民宿」、「ヒンメリ活動」についての講演がありました。

2日間を通して、他地域部員との交流を深め、また、新たな知識を得るとともに体を動かすことで健康にも繋がる

とても充実した研修会となりました。



JA女性組織綱領を朗唱する
部会員のみなさん

心と体の健康と
～オホーツクJA女性協フレッシュユミズ部員研修会～

新年あけまして
おめでとうござります



J A と こ ろ

理 久 世 和 德	事 久 世 和 德	小野寺 俊 幸
副組合長 兼 信用担当委員長	管理担当委員長	川上和則
生産担当委員長	猪野間 小野寺	猪野間 小野寺

監 井 原 久 敏	代 表 今 橙 正 弘	江田 石山 茂 実
組合長	監事 今橋正弘	規 靖 哲
副組合長	事務員 今橋正弘	事務員 今橋正弘

常呂町農民同盟

書記長 他	委員長 他
副委員長 他	副委員長 他
役員 伊藤 周一	役員 中島 梅田
員 一久直俊	員 一憲男 稔則

常呂町玉葱振興会

副会長 他	会長 森 泉
役員 脇 一久	役員 井 清
員 幸喜	員 幸喜
同幸	同幸

常呂町加工馬鈴薯生産組合

組合長 他	組合長 他
副組合長 他	副組合長 他
役員 向井 関谷	役員 井 谷
員 一直孝	員 一和彦

常呂町種馬鈴薯生産組合

組合長 他	組合長 他
副組合長 他	副組合長 他
役員 原 久敏	役員 久敏
員 健	員 彦治

常呂町にんにく耕作部会

部会長 他	部会長 他
副部会長 他	副部会長 他
役員 小森 澤	役員 後藤 関根
員 一正	員 一靖

常呂町大豆生産組合

組合長 他	組合長 他
副組合長 他	副組合長 他
役員 小野寺	役員 深尾田
員 一同	員 隆

常呂町麦生産部会

部会長 他	部会長 他
副部会長 他	副部会長 他
役員 江田	役員 岡房田
員 一孝	員 一洋

常呂町澣原馬鈴薯部会

副会長 他	副会長 他
役員 植松	役員 鈴木
員 一雄	員 幸平
同樹	同浩

常呂町甜菜対策協議会

常呂町南瓜生産組合

組合長 他	組合長 他
副組合長 他	副組合長 他
役員 遠藤	役員 伊藤
員 一	員 一

常呂町農協青年部

副部会長 他	副部会長 他
役員 佐藤	役員 白藤
員 一僚	員 一竜

常呂町乳牛検定組合

組合長 他	組合長 他
副組合長 他	副組合長 他
役員 河野	役員 大江
員 一光	員 弘英

常呂町酪農振興会

副会長 他	副会長 他
役員 横山	役員 河野
員 一弘	員 行光
同伸	伸

常呂町農協利用者年金友の会

副会長 他	副会長 他
役員 佐藤	役員 中内
員 一国	員 靖孝

常呂町農業青色申告会

副会長 他	副会長 他
役員 島藤	役員 松
員 一同	員 稔彦
昭子	雄

常呂町農協女性部

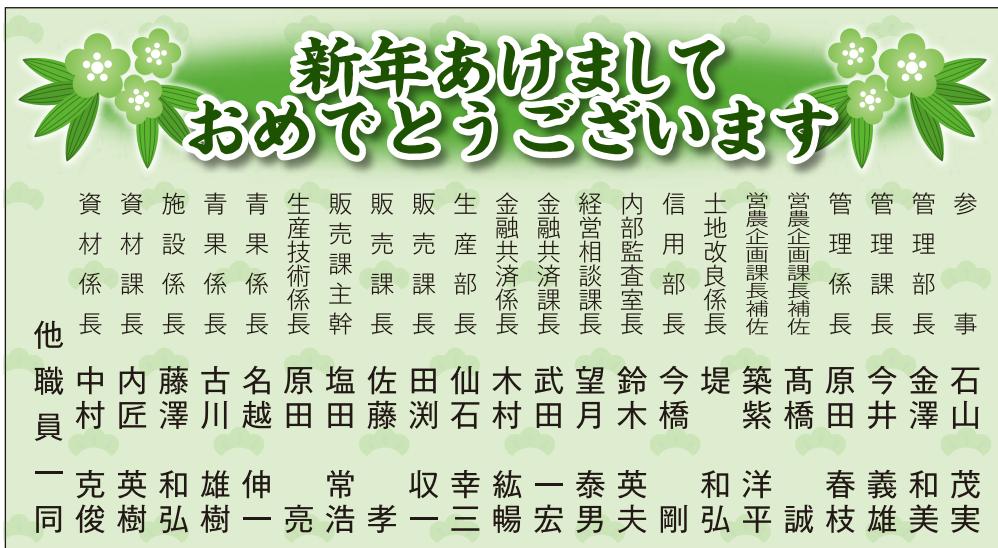
副部会長 他	副部会長 他
役員 麻岡	役員 畠田
員 一優	員 郁理

常呂町農業担い手受入協議会

副会長 他	副会長 他
役員 清林	役員 俊健
員 一俊	員 幸智
同昭子	同子子

常呂町4Hクラブ

書会計長 他	書会計長 他
役員 佐土寺	役員 石野本町
員 一遼	員 彰翔



初春

常呂町農協漁協
共同給油所

所	運営委員長
他 長	他 長
職 員	役 員
一 同	猪 野 間 信 夫
貢 同	同

資材課より取りまとめのお知らせ

- ①春の部品 2月10日まで
- ②キャロットフルフィル 5月31日まで
- ③農 薬 2月 5日まで
- ④オ イ ル 1月22日まで

★取りまとめ期間中は通常時より安価となっておりますので、是非ご利用下さい。

JAグループ 春の新車フェア 2016年1月1日(金)～3月31日(木)契約分まで

TOYOTA SUBARU MITSUBISHI SUZUKI の新車ご購入で、もれなくプレゼント!

A ルクルーゼ ココットロンド 20cm (チャリード・オレンジ)
B パナソニック 低速ジューサー MJ-L500-S
C 象印 炊飯ジャー 5合炊き NP-ZB10 WA
D パナソニック ナノケア ドライヤー EH-NA57 (ピンクゴールド)
E ダイソン ハンディクリーナー DC34
F ブジ医療器 マツザージシート + ボディトリフレ ドクターエア (レッド・ブラック)
G ホクレンカタログギフト セレクト・フォーユー (10,000円分) + JCB商品券 (15,000円相当)

さらに!
+ ホクレン エンジンオイル プレゼント!

軽トラック 新車ご購入の方は スタッドレスタイヤ 4本(ホイール付き)も選べます!

NEW PRIUS DEBUT

- 世界トップクラス 40.8km/L達成! (Eグレード)
- ついに、待望の4WD (E-FOUR)追加!
- 乗れば違いがすぐわかる!
「走りの楽しさ」、「乗り心地の良さ」、「静かさ」



TOYOTA

プリウス S E-FOUR
車両本体価格(税込)
2,697,251円
※登録諸費用別途

ご用命・ご相談は資材課に!

*2015年12月現在。
*上記数値は、JC08モードで定められた試験条件での数値です。お客様の使用環境や運転状況に応じて燃費消費率は異なります。

幸のある
一年に!

生産部販売課
樋渡 由紀
S55年4月生



生産部資材課
空 崇弘
S55年6月生



実行・実現!

今年も
一年平和!



管理部長
金澤 和美
S31年6月生



◆組合員の
名義変更

(変更日:平成28年
1月1日)

(岐阜地区)
藤澤 弘幸
↓
仲光

お知らせ 常呂町農業試験成績報告
技術情報交換会開催

とき 平成28年1月26日(火)

13:30~17:00

ところ 常呂町多目的研修センター
大ホール

内

- ①町内の試験成績報告
- ②優良事例報告
- ③情報交換
- ④その他

多くの皆さまのご参加をお願い致します。

私は最近ハマっている事は『男子会』です。男子会と言つても職員数名での飲み会です。始めたきっかけは、たまたまJAマンコナNo.13で生産部販売課の宮内さんの女子会についての文章を見て、自分も男子会を開催したいと思い始めました。開催当初は女子会のように自分たちで料理を作ることはなく、お店で飲む事が多かったのですが、最近では自宅などで焼き肉をしたり鍋をしたりといろいろな事に挑戦しています。最近テレビなどでも男性タレントが料理を作る番組が増えてきていますので、いずれは自分達も凝った料理に挑戦してみたいと思っています。

私は自身あまりお酒が飲めませんが、いろんなメンバーでいろいろな話をしながら飲むお酒や場の雰囲気は最高で、また仕事を頑張ろうと思いつ気にさせてくれる明るい活力となっています。



皆でお酒をたしなみつつ、
憩いのひと時を過ごしています

「男子会」

信用部金融共済課 係長 木村 紘暢

ちふと発信

J A マン
コーナー

発信No.25

J A 職員からのオススメを
ジャンルにこだわらずに
紹介するコーナーです。

行事予定表

1月1日(金)～1月31日(日)

1月 1日(金)	元旦
1月 4日(月)	信用部仕事始め
1月 7日(木)	事務所仕事始め・新年交歓会
1月 9日(土)	閉組日
1月11日(月)	成人の日
1月16日(土)	閉組日
1月17日(日)	米麦改良協会消費地視察研修～19日
1月20日(火)	玉葱振興会 通常総会～21日
1月23日(土)	閉組日
1月24日(日)	農休日
1月25日(月)	第60回 女性部通常総会 常呂町農業試験成績報告・技術情報交換会
1月26日(火)	フレッシュミセスの集い～27日
1月27日(水)	第12回定期理事会
1月29日(金)	決算棚卸
1月30日(土)	閉組日

第10回理事会報告

- 労働組合からの要求事項について
労働組合からの要求書に基づき審議されました。
- 年末手当の支給について
給与規程に基づき支給することで決定されました。
- 給与規定の一部改正について
原案の通り一部改正することで決定されました。
- 経営定期点検実施要領の一部改正について
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 平成27年度施設利用料金の徴収について
つぎの通り本年度の施設利用料金を徴収することで決定されました。
○育苗センター
加工料 2,360円/冊
加工料(ショベル) 2,395円/冊
○麦乾燥調製料金(暫定)
一般品 14,666円/t
予乾品 12,166円/t
- 平成27年産原料てん菜共同計算概算払について
組合員別見込数量(t) × 11,300円/t の概算払をすることで承認されました。
- 平成27年産玉葱の仮渡金に

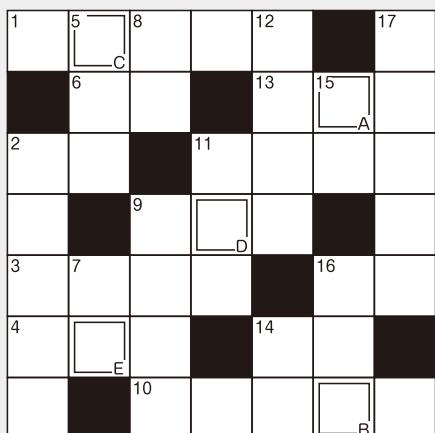
ついて
つぎの通り仮渡金を支払することで承認されました。

○コンテナ1基あたり
生食用 35,000円
加工用 20,000円

- 平成27年産共計小豆の仮渡金について
つぎの通り仮渡金を支払することで承認されました。
○1俵あたり 14,000円
- J A家畜振興資金(短期証券貸付金)の創設について
原案の通り創設することで決定されました。
- 台風23号による農地災害に伴う見舞金の支出について
見舞金を支出することで決定しました。

〈報告事項〉

- 10月末仮決算報告について
- 第6回JAところ収穫“菜”的開催報告について
- 平成27年産小麦(春小麦)の概算精算について
- 平成26年産加工馬鈴薯の本精算について
- 組合員の加入について
- 農業委員会開催結果について



Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか?

タテのカギ

- 首に掛けるアクセサリー
- 髪はここを中心に入巻きます
- 釣り人がじっと眺める物
- 安倍川にしますか、砂糖じょうゆで食べますか
- 色が白っぽい○○○○そばは、ソバの実の中心部分を引いた粉で作ります
- 屋外で写生するときの机代わり
- CDとも呼ばれるコンパクト○○○○
- 腕まくりするとき折る物
- イチカバチかの大きな○○に出た
- 土を盛って造った古代の権力者の墓
- ある限り全部の物

ヨコのカギ

- 新年に寺社へ出掛けて済ませます
- ドライバーで締める物
- 解答用紙の○○○○を文字で埋めた
- 年表を見ると概要がつかみやすいかも
- 騎手が馬に入れる物
- サハラ、ゴビ、タクラマカンといえば
- 受話器を離さずに延々と続けます
- 自動車の燃料タンクが空っぽの状態
- 心頭に発する
- 父や母の、父
- 古い石碑に生えることもあります

先月の当選者・解答

12月号のまちがい探しの答えは、
「2、4、5、7、12」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。
山田 美智子さん(岐阜)
※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、F A Xにてご応募下さい。抽選で、JAところの特産品「つぶあん」と「お赤飯の素」をセットでプレゼントします。

読者の声

★毎月どんな行事があったかわかるので
楽しく見させてもらっています。

(匿名希望)

たくさんのご応募
お待ちしております!

かたおか ゆきな 片岡由貴奈さん

H16年10月生
父：伸夫さん

- ①パズル
- ②何事もコツコツと努力をして成し遂げられるようになってほしいです。
- ③色んなことを学んでいきたい！



えんどう 遠藤 蒼依さん

H16年9月生
父：一也さん

- ①ピアノ・スキー
- ②これからも色々な事に挑戦して、蒼い空のようにどんどん自分を広げていって下さい
- ③スキーを頑張りたいから



さとう 佐藤 愛夕さん

H16年7月生
父：文彦さん

- ①スケート、サッカー、ピアノ
- ②これからも明るく、何事にも努力する愛夕を応援するよ！人の気持ちを考えられる大人になってほしいです。これからの成長が楽しみです。健康第一!!
- ③何事にも前向きに進んで取り組みたい！



新年に向けての目標を一文字で書いてもらいました！

申年 生まれの子どもたち

- ①趣味・特技
- ②ご両親からの一言
- ③一文字を選んだ理由

やまうち 山内 愛さん

H16年1月生
父：英之さん

- ①カーリング
- ②これからも色々な事に挑戦していって下さい。継続は力なり！
- ③身長や成績を伸ばしていきたいから



いとう 伊藤 奈々さん

H16年9月生
父：基行さん

- ①読書・水泳
- ②11年間大きな病気やケガもせず育ってくれてありがとうございます。
- ③来年から端野小学校に行くのでそこでたくさん友達が出来たらいいな！



編集後記

- 組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年はご愛読いただきありがとうございました。
- 昨年の8月に節目の500号を迎えた広報誌「光と風の大地」。これからも組合員皆様に愛され、親しまれる広報誌づくりを目指して行きますので、積極的なご協力とご支援をお願い致します。本年もどうぞよろしくお願い致します。《営農企画課：広報担当》

今月の表紙：常呂町の大地を優しく包む初日の出

斜里岳の麓から姿を現した日の出の輝きが、常呂町の大地を優しく包み込んだ一枚を新年号の表紙に飾りました。斜里岳や2つの山々に挟まれた能取湖、アイスバーンの道路、そして常呂町の大地を真っ赤に染めた風景は鮮やかで絶景でした。

今年も、この日の出のように穏やかで天候に恵まれた中で豊穣の秋を迎えることを記念するものです。
(平成27年12月23日、午前7時00分、東浜地区から撮影)